

○Web サイトにオプトアウトする書式

「 ドパミントランスポーターシンチグラフィにおける新たな定量的指標の基礎的検討 」

○研究の概要

様々なパーキンソン様症状を伴う疾患の画像検査として、ドパミントランスポーターシンチグラフィが使用されている。ドパミントランスポーターシンチグラフィは、多くの施設で解析ソフトウェア DaTView を用いて、¹²³I-FP-CIT の線条体への集積と線条体以外の脳実質への集積比（SBR）を算出し、定量的に評価をおこなっている。ソフトウェアの更新により、新たにDaTView の機能として線条体・尾状核・被殻の後頭葉比（Binding Ratio）の定量化が可能となった。しかし、Binding Ratio の鑑別診断における有用性についての報告はない。

本研究では、Binding Ratio が鑑別診断に有用であるかの検討をおこなう。

○研究の目的と方法

目的：Binding Ratio がパーキンソン様症状を伴う疾患の鑑別診断に有用であるかの検討を行うこと。

対象：当院で過去にドパミントランスポーターシンチグラフィ検査を行い、すでに診断が確定している患者様

方法：DatView で過去撮像データを基にBinding Ratio の算出を行い、診断ごとにBinding Ratio の比較を行う。

○本研究の参加について

本研究により、患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な画像データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使用しないで欲しいと希望される方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

○調査する内容

本研究は、平成 27 年 10 月～令和 6 年 3 月 31 日に国立病院機構熊本医療センターにて、ドパミントランスポーターシンチグラフィ検査を行い、確定診断がされた患者様を対象としております。新たに試料や情報を取得することなく、既存のドパミントランスポーターシンチグラフィ検査の解析結果と読影所見を用いて実施する研究です。

○実施期間

研究対象期間：平成 27 年 10 月～令和 6 年 3 月 31 日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 7 年 9 月 14 日まで

○研究成果の発表

調査した患者様のデータは、集団として分析し、学会や論文で発表いたします。また、個々の患者様のデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

○研究代表者

国立病院機構 熊本医療センター 放射線科 診療放射線技師 甲斐 千尋

○当院における研究責任者

国立病院機構 熊本医療センター 放射線科 診療放射線技師 甲斐 千尋

○問い合わせ先

国立病院機構 熊本医療センター 放射線科 診療放射線技師 甲斐 千尋

電話番号：096-353-6501（代表）